

活動名	団体名	ええじゃん(Asian)
	地域	広島県廿日市市
	代表者	代表 栗林 克行
	支援金額	30万円
活動概要		
<p>廿日市市はもともと海外移民も多く、国際的観光地「宮島」もかかえた町で、市内在住外国人も1,000人(中国・韓国・フィリピン・ブラジル人等)を超えようとしている。しかし、彼等のニッポン生活は厳しく、日本人とのトラブルも発生している。そこで、我々のこれまでの市民レベルのお付き合いを一歩進め、彼等の生活に正面から向き合い、トラブルの解決と予防のため何が必要で、何がネックとなっているのか、外国人、大学生、市民スタッフ協働で調査し、地元企業や地域社会にも具体的なシステム改善を含む提案を行った。</p> <p>◆実施時期 2011年2月19日(土)14時～17時 廿日市市市民活動センター大ホール</p> <p>◆参加人数 参加総人員 50名</p>		



「多文化共生の町・はつかいち」市民フォーラム

◆実施に伴う効果

- ・「外国人相談」は、昨年度16件の相談を受け、何とか対応出来て本人に喜んで頂いたと思う。その内容が多岐にわたるため、その都度窓口を訪ね、専門家の知恵を借り、結構労力の要る仕事ではあったが、「ええじゃん」の活動の原点であり独自性を発揮できる仕事だけに、今後も続けていきたい。
- ・「アンケート調査」は、廿日市市、国際交流協会、商工会議所、町内会連合会等と度々協議し、その協賛を得て実施しただけに、地域の話題となり、特に廿日市市旧市内の町内会長からの回収率は63%と高く、在住外国人問題に対する関心を高めたと思う。
- ・「市民フォーラム」は、上記アンケート調査の結果報告に併せて在住外国人問題全般の協議を行った。外国人と日本人市民に学者や弁護士等も加わった中で、身近なテーマ別のワークショップを行ったところ、外国人と膝を交えての本音トークに新鮮な驚きの声が聞かれ熱が入り、3時間のフォーラムで途中退席者がほとんどいなかった。会場内でもその後にも「とても内容のある会だった！」との反応であり、ひとつのハードルを越えた達成感がある。これを今後につなげたいと思っている。

◆苦労した点

在住外国人の実情把握が困難—個人情報保護絡みで役所や町内会から情報が得にくい。
在住外国人(研修生を含む)を雇用する企業の秘密主義。
在住外国人への広報が困難—多言語対応が困難。伝えられるメディアが少ない。
我々市民団体に対する信頼が低い。

◆今後の課題・発展の方向性

バリアフリー現地巡回・体験会

名称：多文化共生の町・はつかいち現地巡回体験会(仮称)

期日：2011.8.14(土) 予定

参加：廿日市市周辺在住外国人および日本人住民

目的：外国人目線での現地体験・防災訓練と意見交換会を行う。

対象：病院、消防署、あいプラザ、企業、リサイクルセンター、市民活動センター等

◆活動を終えての感想・意見等

平凡な外国語会話の教室から始まった市民活動でしたが、大勢の外国人・日本人市民に支えられて、何時の間にか、市民レベルではあるが在住外国人とのトータルな関係を築こうという活動にまで成長してきました。そして、特に昨年度のマツダ財団の助成は、この小さなボランティアグループを支え大きな力を与えて頂きました。心から感謝申し上げます。